募集!!

豊田市 農ライフ創生センター

農作物栽培技術研修募集要項

■農家になりたい人向け（2年間）

担い手づくりコース 24期生

新規就農科（四郷研修所）8人×2班=16人

山間就農科（旭研修所）8人

■野菜づくりをもっと楽しみたい人向け（1年間）

生きがいづくりコース 9期生

下山研修所10人

《申込み受付期間》

令和8年11月2日（月）

～

令和9年1月13日（水）

上記の期間内に受講申込書を農ライフ創生センターに持参、郵送等で提出してください。

受講の可否は、2月17日（水）頃に通知します。

※豊田市HP掲載場所

トップページ ＞ 産業・事業支援 ＞ 農業・林業 ＞農業＞農作物栽培技術研修



農作物栽培技術研修は、豊田市とあいち豊田農業協同組合の共同事業として実施しています。

農家になりたい人はこちら

担い手づくりコース 24 期生

「野菜等の農作物を栽培し、販売をしてみたい」という人のための農家育成研修です。新規就農科（四郷研修所）と山間就農科（旭研修所）に分かれて、実技を中心に２年間、慣行農法による栽培技術を学んでいただきます。※慣行農法：豊田市内の多くの生産者が実施している一般的な農法

※有機農法には、対応していません。

１　対象

市内で就農を希望する 66 歳以下（令和９年４月１日現在）の人

※健康で日本語の読み書きが可能な２年間の研修受講の意欲のある人

２　研修期間

令和９年３月～令和１１年２月（２年間）

※開講式は、令和９年３月４日（木）午前 10 時～11 時に四郷研修所で開催予定です。

３　募集科目

新規就農科（四郷研修所）、山間就農科（旭研修所）

４　研修場所、開催曜日、定員

科名	研修場所	定員	月	火	水	木	金	土
新規就農科	四郷研修所	１班８名	基礎教科	研修日				
		２班８名	（年 10 回程度）			研修日		
山間就農科	旭研修所	８名	（四郷研修所）					研修日

※開催日数は、年間 50 日程度

※開催曜日は表のとおりですが、天候や作物の生育状況等により変更する場合があります。また、研修日とは別に当番制で水やり等の管理作業があります。

※栽培知識、販売、税務等の営農に関する知識を学ぶ基礎教科を主に月曜日（随時）に行います。

（概ね　３月１回、６月１回、７月１回、12 月４回、１月３回を予定　年 10 回程度）

※開催時間は、いずれも午前９時～正午。ただし、研修内容により長短があります。

※定員を超える応募があった場合は、市内在住者を優先して選考します。

※新規就農科、山間就農科とも各班で、応募が５人に満たない場合は実施しないことがあります。

５　受講料

各科年額（教材費を含む）24,000 円、（市外在住者は 36,000 円）

※原則、納入された受講料は返却しません。

６　費用負担

研修で使用する農業機械、農具等は当センターのものを使用しますが、被服類（作業着、長靴、手袋等）、一部の農具（草刈機の刃、収穫用はさみ）は受講生で用意してください。また、研修２年目に行う実践栽培（P2 参照）で使用する苗、肥料、資材等は受講生が購入してください。

※傷害保険は各自で加入が必要です。

7　研修カリキュラム

教　科	主　な　内　容
基礎教科 （主に講義）	慣行農法に関する土壌分析と施肥設計、病害虫防除、作物の生理・生態、農業経営、営農計画等
専門教科 （主に実技）	慣行農法に関する土壌改良、施肥、畝立て、は種、定植、病害虫防除(農薬)、収穫、販売実習、各種農業機械・農機具を使用した農作業、ほ場の除草等の管理作業、農家・農業施設の見学等 【主な栽培作物】 四郷研修所：ナス、ピーマン、スイカ、ハクサイ、キャベツ、カボチャ、ダイコン、ニンジン、スイートコーン、タマネギ、イチジク、ヤマゴボウ等 （水稲に関する研修は、ありません。） 旭研修所：四郷とほぼ共通ですが、希望者には本研修とは別枠で、山間地域を想定した作物として、水稲（ミネアサヒ)、ジネンジョ、ブルーベリー等の栽培も学ぶことできます。

8　修了要件

受講日数（８割以上)、実践栽培の評価(A～D)等で判定します。
(4 段階評価の内、上位 3 評価(A～C)が修了となり、修了証書が交付されます。）

実践栽培	研修２年目（３月～12 月）に、一人当たり約 200 ㎡の区画を割り振り、受講生自身が栽培計画を立て、作物の栽培を実施します。７月と 11 月の判定会で各区画の管理状況や作物の生育状況等を評価します。

9　修了者への支援

① 市内農地の借受け農地紹介(農ライフ創生センターに情報がある場合)
② 四郷研修所の農業機械の貸出をします。
（有料。修了前に操作の習得状況を確認する検定を実施。貸出には条件があります。）

10　応募方法

令和８年 11 月２日（月）～令和９年１月 13 日（水）に、所定の受講申込書を農ライフ創生センターへ持参、郵送等で提出をお願いします。



専業農家から作物の育て方を教わる受講生（イチジクの栽培）



市役所庁舎内で
販売実習を実施



各種の農業機械の操作を
学ぶことができる

野菜づくりをもっと楽しみたい人はこちら

生きがいづくりコース９期生

初心者向けの「旬の野菜づくりコース」よりもレベルを上げて、農作物の栽培を楽しんでいただくコースです。慣行農法にもとづいた講座を下山研修所で開催します。一般的な野菜のほか、ジネンジョや原木シイタケなど中山間地区ならではの農作物も扱います。

※慣行農法:豊田市内の多くの生産者が実施している一般的な農法　※有機農法には、対応していません。

１　対象

県内在住の 70 歳以下（令和９年４月１日現在）の人

※健康で、日本語の読み書きが可能で１年間の研修を修了する意欲がある人

２　研修期間

令和９年３月～令和 10 年２月（１年間）　**※開講日は受講決定者へ連絡します。**

３　研修場所

農ライフ創生センター下山研修所

４　定員

10 人　**※応募が定員を超えた場合は、市内在住者を優先して選考します。**

（応募が５人に満たない場合は実施しないことがあります。）

５　開催曜日、時間

毎週金曜日の午前９時～正午　ただし、研修内容により長短があります。

※開催日数は年間 50 日程度。天候や作物の生育状況等により開催日・時間を変更する場合あります。

６　受講料

年額（教材費を含む）24,000 円、（市外在住者は 36,000 円）

※原則、納入された受講料は返却しません。

７　費用負担

研修で使用する農業機械、農具等は当センターのものを使用しますが、被服類（作業着、長靴、手袋等）、一部の農具（収穫用はさみ等）は受講生で用意してください。

※傷害保険は各自で加入が必要です。

８　研修カリキュラム

実技を主体に、各種農作物の慣行農法に関する基礎（土壌改良、施肥、畝立て、は種等）を学ぶ。

※主な栽培作物は、ナス、ミニトマト、ニンジン、ダイコン、ヤマゴボウ、ハクサイ、キャベツ、カボチャ、スイートコーン、タマネギ等のほか、ジネンジョ、コンニャク芋、原木シイタケ等、中山間地区ならではの作物も栽培

９　修了要件

受講日数（８割以上）

10　応募方法

令和８年 11 月２日（月）～令和９年１月 13 日（水）に、所定の受講申込書を農ライフ創生センター四郷研修所へ提出（持参又は郵送）

農ライフ創生センター農作物栽培技術研修受講申込書

□担い手づくりコース 24 期生　　□生きがいづくりコース９期生

※申し込むコースに☑してください。

表面

豊田市長　様

記入日	令和　　年　　月　　日

私は、農作物栽培技術研修を受講したいので、次のとおり申し込みます。

ふりがな		枠内に顔写真を貼付してください（３ケ月以内）
氏　　名		
生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日生まれ（　　歳）	
電　　話	自宅　　－　　－	
	携帯　　－　　－	
ファックス	自宅　　－　　－	
メールアドレス		
住　　所	〒　　－	
勤 務 先	現在　　（勤続　　年） 勤務日数：週　　日　勤務時間：　　時　　分～　　時　　分	
	最終　　（勤続　　年）	
希望科目 ※担い手づくりコースのみ	【第１希望】　１.新規就農科１班　２.新規就農科２班　３.山間就農科	
	【第２希望】　１.新規就農科１班　２.新規就農科２班　３.山間就農科	
確認事項	１.第１希望のみ　　２.第２希望でも可　その他（　　）	

私は、受講にあたり下記の事項を誓約します。　　（チェック欄）

1. 農作物栽培研修は、研修カリキュラムに従い、慣行農法で研修します。　□
2. 研修期間中は、研修所の指示に従い、独自の判断では作業しません。　□
3. 講師、職員、他の研修生に対し、迷惑行為はしません。　□
4. 自ら体調管理対策に努めます。　□

以上のことを守らず、秩序を乱すことがあったときは、受講を取消しされても異議を申しません。

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自筆）

裏面も記入してください

※当センターが取得した個人情報は、研修以外の目的には一切使用しません。

事務局記入欄	受付日：令和　　年　　月　　日（　　）	受付No.	受講No.

切り取り線

裏面

1，受講申込の動機について記載してください。

2．農業について思うことについて記載してください。

3．受講にあたり支障となること（持病、アレルギー、介護、養育、勤務体制など）について書いてください。いずれかに〇を付けてください。
1.支障なし
2.支障あり　（内容　　）

4．家族（父母、祖父母など）が農業をしていますか。いずれかに〇を付けてください。
1．家族が専業で農業をしている（栽培品目　　栽培面積　　）
2．家族が兼業で農業をしている（栽培品目　　栽培面積　　）
3．していない

5．農業経験がありますか。いずれかに〇を付けてください
また、2、3の場合は、a～d にも〇を付けてください。
1．経験がない
2．過去に農業に従事したことがある
（a.自己所有農地　b.借受農地　c.庭先の家庭菜園など　d.手伝い）
3．現在、農業に従事している
（a.自己所有農地　b.借受農地　c.庭先の家庭菜園など　d.手伝い）

6．研修修了後、どんな就農スタイルを希望しますか。いずれかに〇を付けてください。
1．自ら耕作し、主に産直施設へ出荷する
2．自ら耕作し、主に市場に出荷する
3．自ら耕作し、生産物を加工して販売する
4．自ら耕作し、自己消費する
5．農業法人や個人農業者を手伝う
6．その他（　　）

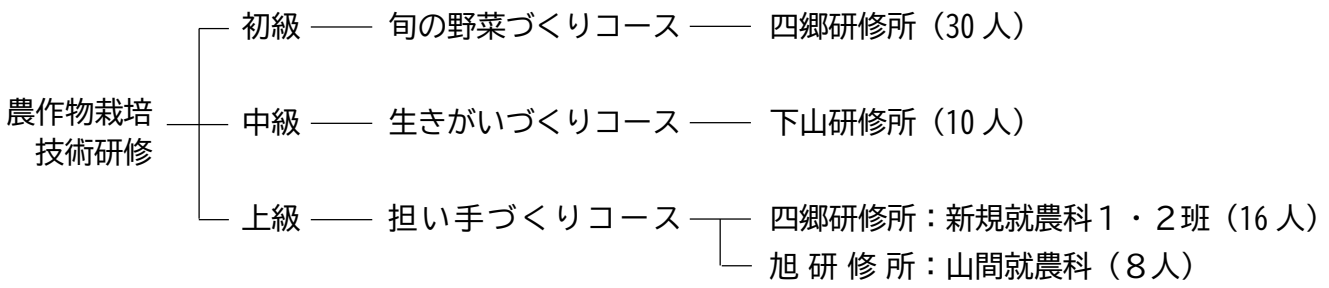
7．今回の募集を何で知りましたか。
□豊田市ホームページ　□広報とよた　□JA 広報誌（グリーンボイス）□その他（　　）

8．募集要項(受講申込書)は、どこで入手しましたか。
□豊田市ホームページ　□市役所　□支所　□交流館　□ＪＡ　□農ライフ創生センター
□愛知県　□その他（　　）

以上です。

切り取り線

農ライフ創生センター 農作物栽培技術研修の体系



※旬の野菜づくりコースは、気軽に野菜づくりを体験できる初心者向けの研修で、別途、募集しています。

受講申込書の記入要領

【表面】

担い手づくりコース、生きがいづくりコース共通です。申し込むコースにチェックを入れてから、太枠内の項目について記入してください。

●**年齢**：令和９年４月１日現在の年齢を記入してください。

●**顔写真**：カラー、白黒は問いません。最近のもので、正面から撮影したものをお使いください。

●**勤務先**：現在欄は、勤務している場合又はこれから勤める予定のある場合に記入してください。現在、無職で勤める予定のない場合は最終欄に最終の勤務先を記入してください。

●**希望科目**：担い手づくりコースを希望する方のみ、希望する科に〇を付けてください。可能であれば第２希望まで選んでください。

●**誓約**:内容を確認の上、□にチェックを入れた後、自筆で氏名を記載してください。

【裏面】

●**受講申込の動機、農業について思うこと等**：自由記載ですが、今後の研修事業の参考にさせていただきたいので、できる限り記載してください。スペースが足りない場合は、別紙を用意していただいても構いません。

●**受講にあたり支障となること**：勤務等により開催曜日が限定される等があれば、記載してください。体調等で農作業に支障のある事がありましたら、記載をお願いします。（アレルギー、持病等）

●**家族が農業をしていること**：家族が農業をしている場合は、栽培品目と栽培面積を記載してください。代表品目の記載をお願いします。

●**農業経験等**：農業の経験について記載してください。

●**研修修了後の就農スタイル**：複数に〇を付けても結構です。市場出荷は、ＪＡの生産部会に加入して本格的に出荷する場合です。

※その他不明な点があれば、お気軽に農ライフ創生センターへお問い合わせください。

農ライフ創生センターのご案内

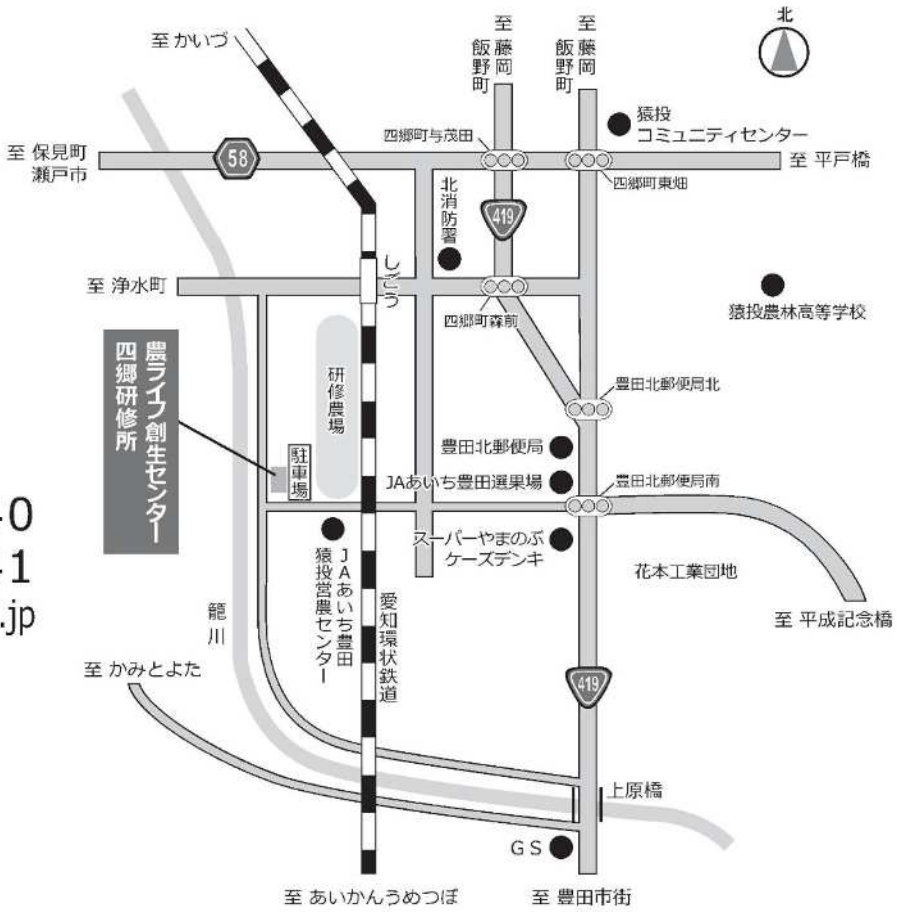


農ライフ創生センター

●四郷研修所

〒470-0373
豊田市四郷町松本105番地１
電　話（0565）43-0340
ファックス（0565）43-0341
E-mail:nou-life@city.toyota.aichi.jp
※開所時間：午前８時30分～午後５時15分
　休 所 日：土・日曜日、祝日、年末年始

交通機関のご案内
【電車】
名鉄豊田線上豊田駅下車徒歩15分
愛知環状鉄道四郷駅下車徒歩５分
【タクシー】
豊田市中心市街地から約15分



●下山研修所

豊田市和合町日向17番地１
電話（0565）91-0802　FAX（0565）91-0803



●旭研修所

豊田市槙本町
（連絡先 四郷研修所）



農業系 Youtuber が研修を体験

Youtuber「鈴木農園 TV」で、農ライフ創生センターの紹介動画が公開されています。ぜひ、ご覧いただき参考にしてください。

※「農ライフ創生センター　YouTube」で検索